

木入道、牧之内集落下水田の農道舗装を問う

受益者、関係者の意見を聞く



中倉 毅 議員

は水田農業に支障をきたしている。

耕作放棄地の要因は何か

中倉毅議員

一番大きな問題は、大型農業機械が通れる農道がないことである。

又、山裾からの地下水が滞留しており、この水がうまく排水されていない要因と思うが、町長はどう思うか。

十分な排水対策が来ていない

町長

持留川流域の水田では、水田の外周部にあたる山沿いに多く見られる。山沿いの水田では十分な排水が得られていないことや周囲との高低差が激しいことや、通作道の幅員が狭いことで引き受け手が見つからないなどである。

水田農業に支障がある

町長

本町の水田農業を取り巻く現状は、農業者の高齢化や農業者人口の減少で自作農家が著しく減少している。

持留川流域の水田は、未整備が多く、農地中間管理事業により、水田の区画や農道の幅員、水路の整備が必要である。現状

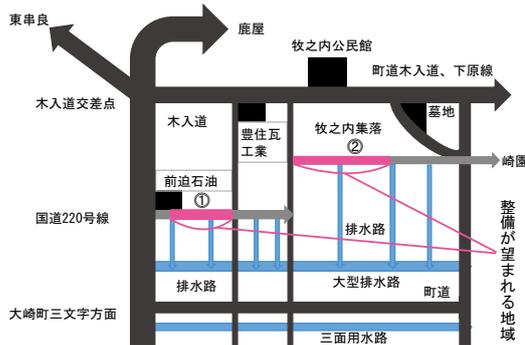
農道の舗装、排水対策は

中倉毅議員

現在の農道は、幅員3.5メートルで未舗装である。

路肩も崩れやすく軽トラックや大型農業機械が通れる状況はない。

又、山裾からの地下水が滞留しているため、周囲の水田は湿田状態である。どうするか。



農道舗装が望まれる①と②の部分

農道、水路の整備を一体的に整備する

町長

耕作者が魅力を感じ、安定した収益を得るためにも、ほ場整備事業で農道、水路を一体的に整備する。

地域の受益者や代表者の意見も聞き整備していく。

永吉運動公園の洋式トイレを問う

中倉毅議員

平成30年4月20日付けで仮宿永吉連合のグラウンドゴルフ会長名の要望書を町長に提出した。担当課からの中間報告では、

トイレの広さが狭く洋式は無理とのことであった。町長は現場を見ていますか。又感想はどうか。

部屋が非常に狭い

町長

永吉運動公園は、昭和56年に整備され、その附属施設としてトイレを整備した。現場を見たところ、部屋が非常に狭いと感じた。

和式トイレの利用状況をどう思うか

中倉毅議員

仮宿、永吉連合のグラウンドゴルフ会員90名の内、毎月1回の大会で約60名が参加している。又、10の各集落同好会の会員が毎週1回練習している。70歳以上の会員が利用している和式トイレは苦痛を感じ、利用したくないという声もある。町長はこれをどう思うか。

相当苦勞されていると思う

町長

高齢者の方々には、和式トイレの利用は、腰をおろし、立ち上がり時の足の曲げ伸ばしなど、相当苦勞されていると思う。

洋式トイレにする考えはないか

中倉毅議員

70歳以上の高齢者が洋式トイレが普及する中で和式トイレを利用することは、利用しにくい環境にしている。会員からの強い要望も踏まえて洋式化する考えはないか。

整備を進める

町長

現在、他の運動公園なども二つあれば一つは洋式化を進めている。永吉運動公園のトイレも洋式化にしたい。ただ、どういう形にするかは担当課と協議する。